

事業タイトル	ネットワーク・市民参加推進事業	子どもアドボカシー推進事業	組織管理	CAPプログラム普及促進事業	トレーニングセンター伴走支援事業
目標	つながりをつくる	子どもアドボカシーの日常化（あたり前化）	持続可能な運営	子どもにとって信頼のおける予防教育の普及促進	地域活動の活性化
中期ビジョン	連携や社会啓発を活発に行うことによって、子どもの権利に関する意識が高まり、権利侵害から子どもを守り、子どもの育ちを支える市民の行動が広がっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもアドボカシーを理解するおとなが増えている。</li> <li>適切な予防教育の機会があることで、子ども差別の状況が軽減し、自らの権利を知り、元々持っている力を回復する子どもが増えている。</li> </ul> <p>※子どもアドボカシーとは・・・子どもの声を聴き、どうすれば改善できるかを一緒に考えること</p> <p>※子ども差別・・・社会構造の中で子どもが「子どもだから」という理由で力が発揮できない状況に置かれていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会からより一層の共感を呼び、人的資源が集まり、すべての子どもの安心・自信・自由を実現するための経済的基盤が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CAPプログラムが有効な予防教育であることが認識され、多機関との連携によって、子どもへの暴力を予防するための実践が広がっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の理念・原則を共有した実践者が増え、情報共有を図りながら、連帯によって子どもへの暴力の予防に日常的に取り組む意識が地域に定着している。</li> </ul>
中期戦略	<p>(1) 連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体、企業、子ども系 NPO 等の連携先の開拓を行い、連携におけるノウハウを蓄積し、エリア内（正会員・RTC 登録団体）と情報共有を行い、活用する。</li> <li>委託事業等のデータを公表する。（地域における委託事業マップ等）</li> <li>子ども系 NPO との連携事例・連携マップの作成。</li> </ul> <p>(2) 社会啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利侵害を「社会課題」と捉えてもらえるよう、啓発を行う。</li> <li>定期的な Youtube 配信を行う。</li> </ul>	<p>(1) 子どもアドボカシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活におけるおとなの果たす役割の重要性を示す CAP 活動の中で得た事例等の共有・社会発信。</li> <li>CAP プログラム提供のなかで出会った子どもの声（子どもワークショップ・トークタイム）の蓄積を整理・分析し、子どもの置かれている状況、子どもの持つ力の社会発信。</li> </ul> <p>(2) 子どもの権利・子どもへの暴力防止への関心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の CAP プログラムへの参加機会、情報に触れる機会を増やす。</li> <li>子ども向けの復習教材（絵本など）の開発。</li> </ul>	<p>(1) 人的資源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Web 等を活用した広報等に関する定期的戦略会議（チーム CCJ）</li> </ul> <p>(2) 経済的基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS 等の Web による広報などを行い、より一層社会の共感を呼び起こし、マンスリーサポーター募集を強化する。</li> <li>収益のあがる事業の模索・実施。</li> </ul> <p>※定期的戦略会議・・・外部の専門分野の有識者の方に広報・経営に関する知恵を貸していただく会議</p>	<p>(1) ニーズに対応するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面における子どもへの暴力防止に関する多様なニーズに応えられる体制をつくる。（具体的なメニュー等の共有）</li> <li>有効性の認識を広げる</li> <li>CAP プログラムや CAP 活動のエッセンスをわかりやすく伝えられる体制（動画やコミック版などの視覚化ツールを含む）をつくる。</li> <li>公開 CAP おとなワークショップ（自主ワーク）の開催促進</li> <li>CAP をまだ知らない人が CAP を知るための導線づくりとして公開ワークショップの開催を促進する。（資金調達を含む）</li> </ul>	<p>(1) CAP プログラム実践者を増やす広報段階から活動開始までの導線をつくる。（仕掛け・仕組みづくり）</p> <p>(2) 実践者の活動のバックアップ機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CAP プログラム実践者への研修やサポートを行う。</li> <li>タスクフォース(フレッシュアズサポートあるいはグループ・地域支援を目的とするミーティング)の実施によって、CAP スペシャリストの活動支援を行う。</li> <li>ブロック・グループにおける戦略</li> <li>ブロック・グループにおいて中・長期戦略を掲げるサポートをする。</li> <li>ブロックごとの実践数等の集計の提示。（将来的には数値目標の設定を行う）</li> <li>情報共有と連帯</li> <li>CAP プログラム実践数を伸ばすための情報・ノウハウ・メニュー・ツールの共有。</li> <li>トークタイムの集計(相談内容の分類や参加数)、統一アンケート等のデータ収集・分析によって CAP プログラムの有効性の根拠を提示する。</li> </ul>
<h2 style="margin: 0;">2020～2024 年度のスローガン</h2> <h1 style="margin: 0;">すべての子どもが安心・自信・自由に！！</h1>					
めざす成果	<p>(1) 連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動において自治体の委託事業の割合が増えている。（委託事業数の推移）</li> <li>企業・公益団体等との連携が始まっている。（企業・公益団体等の推移・増加）</li> <li>子ども系 NPO との連携が深まっている。（連携事業の推移・増加）</li> </ul> <p>(2) 社会啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理解者・支援者のすそ野が広がっている。（事業への参加者数の推移・増加）</li> <li>予防教育への認識が広がっている。（Youtube 発信数・再生回数の推移）</li> </ul> <p>※（ ）内は指標とする数値目標</p>	<p>(1) 子どもアドボカシー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利条例・アドボカシー条例制度を策定した自治体が増えている。</li> </ul> <p>(2) 子どもの権利・子どもへの暴力防止への関心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもへの暴力防止のための基礎講座等の自主事業の参加者数が増えている。</li> </ul>	<p>(1) 人的資源</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部の応援団が増え、多角的な視点での広報や事業が行われている。</li> </ul> <p>(2) 経済的基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源の増加。（マンスリーサポーターの推移・増加）（事業収入の推移・増加）</li> </ul>	<p>(1) ニーズに対応するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域にモデル事業として広がっている。</li> <li>有効性の認識を広げる（CAP プログラムへの参加者数推移・増加）</li> <li>公開 CAP おとなワークショップの開催促進（依頼による CAP プログラム実践数/自主ワーク以外の推移・増加）</li> </ul>	<p>(1) CAP プログラム実践者を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な CAP プログラム実践者が活動し世代交代が進んでいる。</li> <li>エリア内で安定的に CAP プログラム提供ができる準備が整っている。</li> <li>実践者・グループの活動のバックアップ機能</li> <li>RTC として CAP プログラム参加者の満足度を保証する体制が整っている。</li> <li>ブロック・グループにおける戦略</li> <li>依頼が増え、「CAP」(キャップ) で分かってもらえる状況になっている。（CAP プログラム実践数の推移・増加）</li> <li>ブロックにおける中・長期戦略が立てられ、CAP プログラム実践数の数値目標が掲げられている。</li> <li>情報共有と連帯</li> <li>グループ間の連携をさらに図る準備が整っている。</li> <li>ブロックにおける CAP プログラム実践数の増加</li> </ul>
定款に沿った事業仕訳	第 2 事業・第 4 事業・第 6 事業	第 2 事業・第 4 事業・第 6 事業		第 1 事業・第 3 事業 第 5 事業・第 6 事業	第 1 事業・第 3 事業・第 5 事業